

- 牛久沼
- 食べる・買う
- 見る・遊ぶ
- 歴史・行事
- イベント
- ふるさと納税返礼品

# 龍ヶ崎

龍のふるさと

茨城県龍ヶ崎市  
観光ガイドマップ

にぎわい&  
体験スポット満載だよ〜!  
ぜひ来てね!



## 龍ヶ崎市マスコットキャラクター

### まいりゅう MAIRYU

【プロフィール】  
 愛称: まいりゅう  
 性別: 女の子  
 年齢: 45歳くらい  
 特徴: 何でも、承通のこども  
 好きな食べ物: 龍ヶ崎コロッケ  
 趣味: 電鉄(関東鉄道電ヶ崎線)に乗ること  
 特技: ハート形の鼻がはしゃげばイベントを放出すること

©龍ヶ崎市

龍ヶ崎市を代表する伝統行事「撞舞(つくまい)」と「龍ヶ崎(りゅうがさき)」を組み合わせて「まいりゅう」です。鼻のハートは地域のふれあいの温かさを表しています。現在、舞男<sup>※1</sup>になるための修行中です。

- ※1 八坂神社祇園祭の最終日、雨乞いや豊作祈願などの目的で行われる伝統行事。雨蛙の面を付けた舞男(まいおとこ)が、高さ14メートルの撞柱(つくばしら)に登り、さまざまな妙技を繰り広げます。国選択・県指定無形民俗文化財。
- ※2 撞舞のときに、たつこけ(蛙の面をかぶった)で行う男性。

## アクセス



### 電車を利用する場合

JR上野駅・JR水戸駅から常磐線で龍ヶ崎市駅下車。関東鉄道電ヶ崎線に乗り換え終点電ヶ崎駅下車

### 車を利用する場合

首都高速6号線から常磐自動車道を通り、つくばJCTから首都圏中央連絡自動車道を經由し牛久阿見ICで下車。県道48号線(土浦電ヶ崎線)を龍ヶ崎方面へ向かい約20分で龍ヶ崎市街。

観光のお問い合わせは  
☎0297-64-1111 (商工観光課)  
令和8年3月発行

## 牛久沼

鬼怒川の氾濫によってできた周囲約20.0km、面積4.5km<sup>2</sup>の南北に広がる沼です。古来より農業用水として利用されるなど地域住民とのかわりも深く、「年になつた小坊主」など多くの逸話が残されています。周囲には葦原が広がってヘラブリヤコイなど多種多様な水生生物が生息しています。近年は、ブラックバス釣りやウィンドサーフィンを楽しむ人で賑わっています。隣接する牛久沼水辺公園は、水鳥を眺めながらくつろげる市民憩いの場として親しまれています。また、国道6号側からは、筑波山を背にした沼や湖面に沈む夕陽を見ることができ、令和6年8月に「日本の夕陽百選」にも選ばれました。毎年11月20日と1月20日ごろには、富士山頂に沈む夕陽(ダイヤモンド富士)が楽しめます。



### うな井発案者 大久保今助と牛久沼

うな井発祥の地

江戸時代後期、江戸日本橋界町に芝居の興行主で、鯉の大好きな大久保今助という人物がいました。その今助が故郷である現在の茨城県常陸太田市に帰る途中、水戸街道を牛久沼まで来て、茶屋で渡し船を待っているときに鯉が食べたくなり、蒲焼きとドンブリ飯を頼みました。

ところが、注文した品が出てきたとき「船が出るよー」の声。今助はドンブリと皿を借り、ドンブリ飯の上に蒲焼きのつた皿をポンと逆さにかぶせ船に乗り込み、対岸に着いてから勝手に腰をおろして食べたところ、蒲焼きが飯の温度で蒸されていて、より柔らかくなり、飯にはタレがほどよくこみこんで、これまでに食べたどの鯉よりも良かった。というわけで、そのことを知った茶屋が「うな井」を売り出し、やがて水戸街道の名物になりました。

※諸説あり

## 食べる・買う

### コロッケで街おこし

日本一の龍ヶ崎コロッケ

平成12年6月に、市街地活力センターまいん(現まいん健康サポーター)が中心市街地にオープンしたことをきっかけに、商工会女性部の有志が衰退した商店街に活気と元気を呼び戻そうと、まいんの手作りコロッケを販売したところ、家族連れが長蛇の列を作るなど人気となりました。まいんコロッケは、ポテト、カレー、れんこん、おさつ、りんご、ライスクリーム、メンチカツとバリエーション豊かです。全ての素材は地元産にこだわり、特にメンチカツは茨城県産ブランド豚肉ロースポークを100%使用するなど、安全で安心なコロッケを提供することをモットーにしています。また、龍ヶ崎コロッケは平成29年4月2日に地域団体商標登録をしました。コロッケで街おこしに賛同した市内の飲食店がコロッケクラブ龍ヶ崎(令和8年現在20店舗)発足し、おいしい味を提供しています。

### 龍ヶ崎トマト

甘さと旨味と酸味のバランスがよい当地トマト

龍ヶ崎トマトは「リディーファースト」と呼ばれるファーストトマトで、先が尖って筋が入っているのが特徴です。熟練の技術しめ作り(極力水を控える栽培方法)により、果肉が多く食味が非常に良いことに加え、甘さと旨味と酸味のバランスが良い人気のおトマトです。高品質で信頼性・安全性が市場で高く評価された果を代表する青果産地として「茨城県銘柄産地指定」の認定を受けています。

### 米

肥沃な土壌と豊かな水資源。そして温暖な気候に恵まれた龍ヶ崎市は、古くから稲作が盛んな地域で、現在でも市全体面積の3割で稲作が行われています。各農家こだわりの栽培方法で丹精込めて育てた米は、土壌のわずかな違いも影響してそれぞれ異なる味わいがあります。無農薬栽培や農薬・化学肥料を5割以下低減した栽培により「特別栽培米」の認証を受けたコシヒカリのうち、市の認定基準を満たしたものをふるさとと龍ヶ崎ブランド農産物に認定しています。

### 農産物等直売所「たつのこ産直市場」

龍ヶ崎市佐貫町645-1 開設在員11名  
☎0297-62-0715  
開設: 平日AM10:00~PM6:00  
休: 毎月第1火曜・火曜及び年末年始(12月29日~1月3日)

龍ヶ崎市内を中心に丹精込めて生産された新鮮で安全安心な季節の農産物が豊富に取り揃っています。また、龍ヶ崎市民観光物産協会をはじめ、地域の魅力ある特産品も販売していますので、ぜひお立ち寄りください。

### 観光物産センター「まいりゅうショップ」

龍ヶ崎市佐貫町645-1 開設在員11名  
☎0297-64-1093  
開設: 平日AM10:00~PM6:00  
土・日・祭 AM10:00~PM5:00  
休: 毎月第1火曜(月曜が祝日の場合は翌日)、1月1日~3日

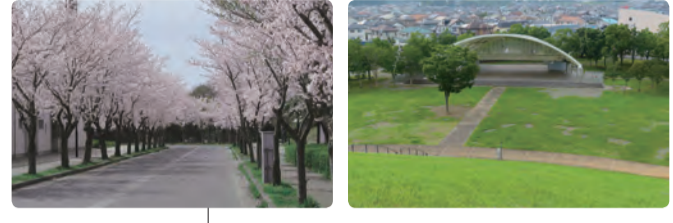
## 見る・遊ぶ

### 龍ヶ崎公園

たつこのこやまから全長30mのすべり台が自慢

龍ヶ崎市中里3-1

龍ヶ崎のシンボルたるこのこやま(標高41m)を囲む緑豊かな公園。全長30mのすべり台もある大型遊具は、連日多くの利用者でにぎわっています。



### 龍ヶ崎市森林公園 アドベンチャーパレー龍ヶ崎

龍ヶ崎市泉町1966 ☎070-6661-1966

自然を感じながら家族や友人などと1日中楽しめる約1.3haの公園です。「こどもは大人に、大人はこどもに!」樹上を思いっきり身体を使って楽しめる人気のフォレストアドベンチャー。高さ10mのクライミングが楽しめるクリフチレンジャー・ハーネスなしで樹上コースが楽しめるネットコース、マウンテンバイクで森の中を駆け抜けるトレイルアドベンチャーのほか、オートキャンプ場や「ベークウ」なども整備されています。また、春には桜が咲き誇ります。



## 農業公園 豊作村

龍ヶ崎市板橋町440 ☎0297-60-1720  
休: 月曜(月曜が祝日の場合は翌日)

全134区画のレンタルファームがあり、年間7,500円から利用できます。また、季節に応じた旬の野菜などを収穫できる農業体験事業も行っていきます。自然豊かな環境で、日常味わえない体験を試してみませんか。

### 総合運動公園

龍ヶ崎市板橋町440 ☎0297-62-6284

ニューライフアリーナ龍ヶ崎は、メインとサブの体育館、プール、ボウリングウォールなどを備えたスポーツ施設。屋外流水プールとウォータースライダー。こどもたちには人気。サブアリーナには、高さ4m・全長7m、角度の違う3種類(85度・90度・100度)のボウリングウォールがあります。初めての方も楽しめますので、ぜひ、体験してください。A1メカテックフィールド龍ヶ崎は、全天候型舗装・1周400メートルトラック・8レーンを備えた3種公認陸上競技場。陸上記録会から、大学サッカーリーグまで幅広く利用ができます。TOKIWAスタジアム龍ヶ崎は、県内最大級の画面サイズであるスコアボードやナイター照明を有する、両翼100mの本格的な野球場です。



### 龍ヶ崎飛行場

龍ヶ崎市半田町1177 ☎0297-62-1271

昭和40年に開設された小型機専用の飛行場で、遊覧飛行等が楽しめます。操縦免許も取得できます。また、全国各地の防災ヘリ等の訓練拠点として重要な飛行場になっています。

## 歴史・行事

### 龍ヶ崎の撞舞

7月下旬に3日間行われる八坂神社祇園祭の最終日夕刻、市内根羽の撞舞通いで行われるのが撞舞です。撞舞は、高さ14mの柱に笛や太鼓の囃子に合わせて暗緑色のたつこけに蛙の面をかぶった「舞男」が登場します。柱の頂上に後ボチ120枚でつくられた円盤があり、そこで舞男は弓を引き、東西南北に向かって矢を放ちます。続いて、逆立ちしたり仰向けになったり妙技の限りを尽くした曲芸を見せて下におります。この撞舞には、雨乞いや豊作祈願、または疫病よけの意味があるといわれ、舞男が柱の上で四方に放った矢を拾った人は1年間災厄を免れるとされています。国選択・県指定無形民俗文化財に登録されています。



## 八坂神社と行事

龍ヶ崎市八代町2177 ☎0297-62-1303

文治年間(1185~1190)、領主下河辺政義が、龍ヶ崎の開拓にあたり、農民を移住させた際、農民の心の拠り所だった貞原八坂神社の分社を、現在の根羽に建立したのが、上町八坂神社の始まりです。天正5年(1577)には、龍ヶ崎城主土岐胤倫が八坂神社を根羽の般若院から分離して町の中央である現在の土町に移しました。その後、龍ヶ崎の鎮守として、上町の領主と住民の深い信仰によって現在に至っています。毎年2月3日の節分大祭では、馬の上ではこの日を境に春が訪れるとされ100余名の年男が集まり盛大に豆まきが行われます。また、1年間神様に奉ったお札やだるまを奉納し、新しいお札とだるまを揃える習わしもあります。また、全国各地で行われる祇園祭は、龍ヶ崎市でも行われます。上町八坂神社の祇園祭は、毎年7月下旬に3日間行われ、市内最大級のお祭りです。

## 般若院

龍ヶ崎市3341 ☎0297-62-2270

根羽にある天台般若院(金剛山龍伝寺)は、天元元年(978)に道珍法師によって創建されたといわれています。当初は貞原塚頭に創建され、その後、大永4年(1524)に現在の場所に移されました。龍ヶ崎の鎮守の八坂神社も、以前は般若院の場所であり、別当を般若院が務めていました。八坂神社の祇園祭には、般若院の前(御飯屋)が建ち、撞舞もすぐそばで行われています。

## 女化神社の初午

龍ヶ崎市駒馬町5387 ☎029-872-2237

「親子狐の石像」は市民遺産

龍ヶ崎市の北部の牛久市女化に龍ヶ崎市の飛び地があり、そこに女化神社が建っています。旧暦2月最初の午の日に初午、その12日後に二の午が催されます。

## 龍泉寺

龍ヶ崎市287-1 ☎0297-62-2373

龍泉寺(東福山水天院)は、龍ヶ崎地区のほぼ中央、下町にある天台宗の寺で、一般には「龍ヶ崎観音」の呼び名で親しまれています。日光二荒山開基の勝道上人の高弟、蓮雲法印が安産祈願のため雨和天皇の勅を受けた弘法大師作の「聖観世音菩薩」の尊像を山城の国から迎えたのが始まりで、その後天正年間(1573~1592)に後の龍ヶ崎城主・土岐胤倫が妻・お福の方の産産に際し、無事出産できたという伝えもあり、今も安産・子育て・出生・開運・除災の観音様として広く信仰を集めており、茨城百景の一つです。水子地蔵は約200体とも言われています。また7月10日の4万6千日分の参拝をしたことなる功德日に境内で伝統的に行われている「ほおずき市」では、お参りをしてほおずきを求める人が数多く詰めかけます。

## 来迎院

龍ヶ崎市駒馬町2362 ☎0297-62-3474

来迎院は、本尊は阿彌陀如来の立像ですが、その創建時代については不明です。このお寺は「多宝塔」で知られており、この塔を見るために多くの人が寺を訪れます。この多宝塔は弘治2年(1556)に江戸崎城主・土岐治房が修築した旨の銘文があり建立年はさらにさかのぼる可能性もあります。また、関東・東北地方では最も古い多宝塔といわれ、平成18年には国の重要文化財に指定されました。毎年12月29日には、火防大祭が行われます。

## 金龍寺

龍ヶ崎市若菜町866 ☎0297-66-3469

市の北西部若菜町の丘の上にある曹洞宗の寺です。元享元年(1321)、新田義貞の創建、天祖神廟の開基と伝えられています。今も本堂内には新田家の仏壇が設けられ、境内裏手の木立の中には、義貞以下、新田氏代々の墓が残っています。

## 富士浅間神社の初山

龍ヶ崎市八代町2177 ☎0297-62-1303

子育ての「浅間さま」で名高い富士浅間神社の祭りは、旧暦の6月1日に行われます。こどもの健やかな成長を願って、誕生から数え年7歳まで、毎年続けて登山し祈願するのらなるともしています。親につれられた子どもたちは、神社裏手に築かれた高さ34.8mの富士山に登り、山頂の本殿にお参りした後、噴火口を型どったお鉢をひとめぐりして初山参りを終わります。

## 伊達藩

伊達藩は天正19年(1591)、豊臣秀吉の領地替えによって新たに仙台の地を与えられた伊達政宗を初代藩主とする仙台藩の別荘です。政宗は、慶長11年(1606)に徳川家康から常陸河内郡と信太郡26カ村(1万石余)を与えられています。現在の龍ヶ崎市の一部は仙台藩領でした。政宗は、龍ヶ崎に陣屋を構えて代官を置き、常陸国における仙台藩支配の中心地としたため龍ヶ崎は繁栄しました。街道の出入口には「仙臺鎮」と刻んだ石柱を建て、治安と防衛のために番屋をおいたといわれています。市役所近くにある愛宕神社は、寛永18年(1641)に時の領主・伊達陸奥守忠宗(政宗の子)の創建です。伊達家は代々愛宕神社を崇拝し、仙台には京都から勧請した愛宕社が祀られています。幕末に北海道に移住した仙台藩民が数多くいますが、いずれの村にも必ず愛宕神社があるそうです。龍ヶ崎にも愛宕神社を祀ったのも同じで、龍ヶ崎鎮民を火災から守り、さらに村への行業地としたのでしょ。

## 歴史民俗資料館

龍ヶ崎市駒馬町2488 ☎0297-64-6227  
入場料 無料  
開設: AM9:00~PM5:00  
休: 月曜(月曜が祝日の場合は翌日)、年末年始

1階の常設展示は、国選択・県指定無形民俗文化財の撞舞、原始古代から近代までの資料、昭和の暮らしの道具や民具などを展示、2階の多目的室と体験学習室では、様々な学習活動を行っています。屋外には、農家の納屋、たばこ屋、水車小屋が建ち、電ヶ崎線を通った蒸気機関車がランドマークになっています。



## 関東鉄道 竜ヶ崎線

市民遺産

電ヶ崎線愛称「電鉄」JR常磐線龍ヶ崎駅と龍ヶ崎市の中心部を結び、わずか4.5km・所要時間7分の路線です。田園風景の中をのんびり走るこの鉄道、茨城県で最も古い路線で、明治33(1900)年に開通しました。単線のどかに走る「電鉄」は今も龍ヶ崎市民の大切な足です。

## 旧竹内農場 赤レンガ西洋館

市民遺産

この煉瓦造りの西洋館は、大正9(1920)年に竣工した竹内明太郎(元内閣総理大臣吉田茂の兄)の別荘です。素材にもこだわりを見せたモダンな外観と瓦屋根・土間といった日本家屋の要素とが混在した和洋折衷の姿いや、内部で養蚕が行える造りなども含め、非常に個性的な存在です。令和2年(2020)1月22日に竹内家文書とともに龍ヶ崎市民遺産に認定されました。

## 旧諸岡家住宅 煉瓦門と住居

登録有形文化財

この煉瓦門・塙は、実業家で第11代龍ヶ崎町長を務めた諸岡良佐の自宅前(現在の電ヶ崎駅近く)に、明治43年(1910)頃に建てられたもの一部で、もとの塙の長さはおよそ35メートルでした。平成18年(2006)、解体される見通しとなっていた煉瓦門・塙を惜しんだ市民が「赤レンガ保存実行委員会」を組織し、寄付や募金活動を進めて現在地に移築、保存したものです。龍ヶ崎を代表する名士の邸宅の趣向な門構えを伝えるもので、平成30年(2018)5月10日に登録有形文化財となっています。

## 若菜宿

江戸時代は水戸街道8番目の宿場として多くの旅人が往来し、大坂の曲がりから金龍寺まで500メートル余りが若菜宿です。明治19年の大火で大半が焼失しましたが、立派な門構えの旧家が数多く残存しています。また、当時から巨樹、珍木も多く、かつての名残が随所にみられます。

## イベント

### たつのこマルシェ

龍ヶ崎市で収穫された新鮮野菜や物産品が集まります。生産者と消費者を結び場となっています。

### まいんバザール

コロッケを多くの人に食べてもらおうと始まったイベントです。コロッケ販売のほか、飲食店やフリーマーケットが並びます。

## 主なふるさと納税の返礼品

- ベアロックグラス (びっくらに四角龍目紋) カガミクリスタル株式会社**  
龍ヶ崎市内向島4-5  
宮内庁の御用品としても認められている日本初のクリスタルグラスメーカーが提供する江戸切子のロックグラス。伝統職人の「びっくら」に「四角龍目」を組み合わせたクラシックなデザインで、オールドボックスな美しさを有しています。
- 高級牛革ベルト**  
有限会社牛革のヨシヨ  
龍ヶ崎市内原町1 6189-1  
国産や英国、イタリアなどの高級生地を使用し、仕立て職人が世界で一つだけの「あなたのスタイル」をお作りしています。このベルトは、エルメスやブルガリのなどのトップブランドも選ぶ、ドイツのベリッゲン社の「フレックカッパー」を使用。高級の革を職人が一つ一つ手仕上げしています。
- 揚げ餅**  
龍ヶ崎市3359  
創業110年以上のお老舗餅店。美味しいものとは、素材や技術だけでなく、作る人の情であるということを感じてもらえるお店です。当社の揚げ餅は、お餅の相性が良い「米油」で揚げているので、カラッと香せながら、いつても食べられます。
- 龍ヶ崎コロッケ**  
有限会社高橋内店  
龍ヶ崎市1513  
龍ヶ崎で70年以上愛され続けているコロッケを販売する精肉店。昔ながらのジャガイモコロッケの他、深層煎製のレッコウ入りのクリームコロッケは、龍ヶ崎の米粉で作ったクリームが絶品! 地元の高校生とコラボしたコロッケなども豊富です。

ふるさと納税の詳細についてはこちらから